北海道最低賃金

10月1日 50円の引き上げ 1,010円に!

有期・短時間・契約等で働く人が安心して生活できる最低賃金水準を!

誰もが時給1,200円以上へ!

北海道最低賃金額の推移（過去５年間）

	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
最低賃金額	861円	889円	920円	960円	**1,010円**
対前年引上額	—	28円	31円	40円	**50円**
対前年引上率	—	3.25%	3.49%	4.35%	**5.21%**

10月1日から北海道最低賃金が現行から50円引き上げ1，010円に改定されます。

過去最大の引き上げは「誰もが時給1，000円」となる社会の実現に向けた第一歩となり、全労働者の3割を超える方々の賃金が改善されることは評価できるものです。しかし、消費者物価の高騰は、我々労働者の生活に大きく影響しており、切り詰めることが出来ない生活必需品の上昇は、働く者の生活を圧迫しています。過去最大の引き上げ額となったことは評価するものの、ナショナルミニマム水準として十分とは言えません。

一方で、中小企業や小規模事業者が、継続的に賃金を引き上げるための環境整備も重要です。

引き続き連合は、改正された最低賃金の履行確保、法令遵守、労働者が安心して生活ができる社会の実現、更には社会全体の賃金の引き上げにむけて、企業における各種助成制度の活用が拡大するためのさらなる情報発信や制度の見直しなどを求めるとともに、特定（産業別）最低賃金の引き上げについても全力で取り組みます。

持続可能な路線バス維持を要請

札幌地区連合と北海道交運労協バス部会連名で札幌市へ要請書提出

9/13

札幌市内を走る路線バスを取り巻く状況は厳しさを増しています。そのような中、北海道交運労協バス部会（高橋英雄部会長）に結集する札幌市内4労組は、路線バスが地域にとって必要不可欠な存在であり、一つの労組・会社の課題ではなく札幌全体での共通した課題として、いま職場で直面している運転手、整備士の慢性的な人員不足への対策や仕事としての魅力向上策など8項目について、働く側からの声として、札幌市に対し札幌地区連合との連名による要請を実施しました。

誰もが安心して働き続けられるまちへ

新年度予算編成へ、札幌市へ政策要求を提出

9/20

札幌地区連合は9月20日（金）、札幌市に対し「2025年度予算編成へ向けた政策要求」を提出しました。

減便が続く市内路線バスの維持に向けた行政支援、物価高騰に対する家計への直接支援につながる負担軽減策、学校給食の無償化や子ども医療費や就学支援金制度などの所得制限撤廃、市内の働き手確保などを重点要求項目とした8分野66要求からなる要求書を秋元札幌市長に手交しました。

札幌地区連合吉田会長は「物価高で市民生活は厳しい状況が続いている。春闘の賃上げ成果も物価上昇に追いついていない。企業間、地域間の格差が拡大している。」として、引き続き人を大事にすることを原点とした持続可能な札幌の街づくりに向けた尽力と要求項目の前進を求めました。

要求書を受け取った秋元市長は「物価高騰で生活の厳しさを認識している。働く人たちの貴重な意見を頂戴した。関係部局で検討し、意見交換をしながら回答につなげたい」と挨拶。その後、山口事務局長から要求趣旨について説明したのち、カスタマーハラスメントをなくすための取り組みなど要求課題について参加者と意見交換を行いました。

札幌地区連合会は推薦しています!働くことを軸とする安心社会の実現へ!

札幌地区連合は2023年7月5日、第50回衆議院議員選挙の推薦を決定しています。

北海道5区
池田まき
札幌市厚別区・白石区の一部・石狩管内（石狩市除く）

北海道4区
おおつき紅葉
札幌市西区発寒の一部・八軒地区・手稲区・後志管内・石狩市

北海道3区
荒井ゆたか
札幌市豊平区・白石区の一部・清田区

北海道2区
松木けんこう
札幌市北区鉄西地区除く・東区

北海道1区
道下大樹
札幌市中央区・南区・西区・北区鉄西地区

連合北海道札幌地区連合会ホームページ

労働相談ホットライン
フリーダイヤル いこうよ れんごうに
0120-154-052

QRコードで速報をチェック!

https://rengo-sapporo.jp/

札幌 れんごう

札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル2階
編集発行人 吉田 賢一 ☎210-0505
2024年 10月5日 475号
連合北海道札幌地区連合会